

MIMASAKA AREA ART GUIDE

真庭市 / 鏡野町 / 美作市 / 津山市 / 奈義町 / 新庄村 / 勝央町 / 美咲町 / 西粟倉村 / 久米南町
MANIWA / KAGAMINO / MIMASAKA / TSUYAMA / NAGI / SHINJO / SHOO / MISAKI / NISHIAWAKURA / KUMENAN

MIMASAKA ART BOOK

アートでめぐる美作の10市町村





序文

アート・ブック発行に寄せて

アートを用いたアート・イベントによる地域活性化が昨今全国的に注目を集めています。従来の美術館やギャラリー、観光地や周辺環境を活用した意欲的な取組など、そのアート機運は高まる一方です。また、「アート思考」という概念が国内でも徐々に発達し、今まで以上に人々の思考の中や感性にアクセスされる気運が増えて来ました。

そもそも、アートというツールが、アーティストが創り出す作品やそこから派生したアート・イベントやアート・プロジェクトを含め、何故地域と関係しているのか？アートは地域の文化や歴史、風土を反映するものとして、地域のアイデンティティを強化する役割を持っているといわれます。地域の歴史や文化をテーマにした作品は、地域住民や観光客にとって意義のあるものとして受け入れられています。

9月末から11月にかけては、国際芸術祭「森の芸術祭 晴れの国・岡山」が開催され、国内外から多くの方が美作地域に来られます。美作地域には、緑豊かで雄大な自然、旧街道沿いの宿場町や城下町、水運の拠点として栄えた歴史ある街並み、優れた泉質の美作三湯など、県南部の瀬戸内海沿岸とは異なる風景と魅力的な地域資源を数多く有しており、また、これまで三回にわたり開催してきた「美作三湯芸術温度」の作品を中心に、アート作品やスポット等、貴重なアート資源が点在しています。このたび、美作地域を訪れた皆様にアート巡りを楽しんでいただけるよう、これらの魅力を網羅したアート・ブックを作成しました。

このアート・ブックが、アート資源を語り、接していく上で長くお役に立てたら幸いです。ご多忙中にもかかわらず、アート・ブック作成主旨をご理解、ご協力いただきました美作地域市町村ご担当者各位には、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

監修／奈義町現代美術館館長 岸本 和明

Contents

■ 真庭市 <i>Maniwa</i>	04
■ 鏡野町 <i>Kagamino</i>	15
■ 美作市 <i>Mimasaka</i>	19
■ 津山市 <i>Tsuyama</i>	26
■ 奈義町 <i>Nagi</i>	28
■ 新庄村 <i>Shinjo</i>	32
■ 勝央町 <i>Shoo</i>	33
■ 美咲町 <i>Misaki</i>	33
■ 西粟倉村 <i>Nishiwakura</i>	34
■ 久米南町 <i>Kumenan</i>	35
地図 <i>Map</i>	36
森の芸術祭 <i>Forest Festival of The Arts</i>	40
市町村情報 <i>Area Info</i>	42
管内美術館等 <i>Museums</i>	43
イベント情報 <i>Events</i>	44





2.(上)「浮」シリーズ (下) (untitled)
児玉 知己

◎真庭市湯原温泉 湯快感 花やしき

Tomoki Kodama
Hanayashiki, Yubara, Maniwa City

旅館のもつ雰囲気と鮮やかな作品が交わり、
空間に彩りを添えています。



3.「望遠分枝図」他 | 山部 泰司 ◎真庭市湯原温泉 八景 Yasushi Yamabe Hakkei, Yubara, Maniwa City



4.はんざきさん湯上がり姿

松岡 徹

◎真庭市湯原温泉 元禄旅籠 油屋

Toru Matsuoka

Genroku Hatago Aburaya, Yubara, Maniwa City

5.(右)はんざき地藏

松岡 徹

◎真庭市湯原温泉街各所

Toru Matsuoka

Various Places in
Yubara Onsen,
Yubara, Maniwa City

6.(左)3泊目のはんざきさん

松岡 徹

◎真庭市湯原温泉

元禄旅籠 油屋

Toru Matsuoka

Genroku Hatago Aburaya,
Yubara, Maniwa City





7. Dancing Egon
 宮崎 郁子
 ◎真庭市湯原温泉 我無らん
 Ikuko Miyazaki
 Gameran, Yubara, Maniwa City
 パリ風の旅館から着想を得た、湯原
 ダムの冠をつけてパリ舞踊を踊る
 シーレ。



9.旧遷番尋常小学校(国指定重要文化財)
 設計:建築技師・江川三郎八
 ◎真庭市鍋屋17-1
10.勝山町並み保存地区
 ◎真庭市勝山地区

The Old Senkyo Jinjo Elementary School
 Architect : Saburohachi Egawa
 17-1 Nabeya, Maniwa City
Katsuyama Townscape Preservation District
 Katsuyama, Maniwa City

明治40(1907)年にルネッサンス様式の木造校舎として建てられた。完全なシンメ
 トリー(左右対称)のデザインと白亜の外観が印象的。映画『ALWAYS 三丁目の夕
 日』『火垂るの墓』などのロケ地としても有名。
 軒先に個性豊かな「のれん」ががかり、町並みを美しく彩る。何をモチーフにした
 デザインなのか考えながら眺めるのも楽しい。

8.はんざきヴァリー(湯上がり姿)
 宮崎 郁子
 ◎真庭市湯原温泉 湯の蔵 つるや
 Ikuko Miyazaki
 Yunokura Tsuruya, Yubara, Maniwa City
 湯上がりに一升瓶を持ってご機嫌のヴァリー。





11.はんざき足湯
松岡 徹
 ◎真庭市湯原温泉 河川敷
Toru Matsuoka
On the Riverbed, Yubara, Maniwa City
 タイルでできた、はんざきの形をした足湯。タイルは100年たっても色あせない素材で、はんざきと同じように長年愛される作品になってもらいたいという思いが込められている。



12.バックンはんざき
伊藤 みのり
 ◎真庭市豊栄1525-1
Minori Ito
1525-1 Toyosaka, Maniwa City
 湯原で人気のデザイン「バックンはんざき」を実物大で再現!頭をはんざきの口の中に入れて記念撮影できます。



13.はんざきさん湯冷め姿2号
松岡 徹
 ◎真庭市湯原温泉「手湯足湯」
Toru Matsuoka
Teyu-Ashiyu, Yubara, Maniwa City
 「手湯足湯」のいすに、タオルを腰に巻き、どっしりと座っています。



14.はんざき山車「太郎・花子」
坂手修三デザイン事務所
◎真庭市豊栄1538-1

Sakate Shuzo Design Office
1538-1 Toyosaka, Maniwa City

8月8日のはんざきまつりのお祭り山車。リアルなはんざきの太郎と祭事仕様の花子の2機がある。普段ははんざきミュージアムに収納されている。



15.CLTパビリオン 風の葉
設計:隈研吾
◎真庭市 GREENable HIRUZEN

Architect : Kengo Kuma
GREENable HIRUZEN, Hiruzen, Maniwa City

誰もがサステナブルの価値を身近に体感できる観光文化発信拠点施設「GREENable HIRUZEN」のランドマーク。CLTパビリオン『風の葉』は建築家隈研吾氏による設計。





16.茅アート(しずく)

株式会社EARTH BUILDING

◎真庭市 蒜山振興局

蒜山ハーブガーデン・ハービル

風のパレットHIRUZEN

Earth Building Co.

HIRUZEN kazenopalette, Herb garden HerBill,
Hiruzen, Maniwa City

蒜山高原の茅を使ってつくられたアート作品。
蒜山の源泉から湧き出る水「しずく」と蒜山の広
葉樹の木の実「ドングリ」をイメージしてつくら
れた。



17.真庭のシシ(愛称:まにシシ)

淀川テクニック 柴田英昭

◎真庭市 GREENable HIRUZEN

Shibata Hideaki, Yodogawa Technique
GREENable HIRUZEN, Hiruzen, Maniwa City

真庭市内の一般家庭から出された「ごみ」か
らつくられたイノシシのモニュメントで、ごみ
の減量化・再資源化を行う「持続可能な廃棄
物処理の仕組みづくり」のPRで作成された、
地球にやさしい、まにシシ。



19. STRIPE
草間 喆雄
◎鏡野町奥津温泉
米屋倶楽部 奥津
Tetsuo Kusama
KomeyaClub Okutsu,
Okutsu, Kagamino Town



21. 「うつわ」シリーズ
松村 晃泰
◎鏡野町奥津温泉 米屋倶楽部 奥津
Teruyasu Matsumura
KomeyaClub Okutsu,
Okutsu, Kagamino Town



20. multi LD ver. 米屋倶楽部
red/blue
中島 麦
◎鏡野町奥津温泉
米屋倶楽部 奥津
Mugi Nakajima
KomeyaClub Okutsu,
Okutsu, Kagamino Town

旅館のペロタクシーに、奥津の色を
ギュッと重ねた。流し込んだ色はその
場でしか見ることができないものとな
っています。





22.(右)びじんにしてもらう彫刻
かがみのおやま

23.(左) びじんにする彫刻
大間 光記
◎鏡野町奥津温泉 花美人の里

Mitsunori Ohma
Hanabijin-no-sato, Okutsu, Kagamino Town

22.奥津温泉は「美人の湯」。みんなの手で触れてもらい、「びじんにしてもらう彫刻」です。

23.奥津の足踏み洗濯をヒントに制作された「びじんにする彫刻」。作品を踏むことで、足から来館者を「びじん」にします。

24. 2000年後の温泉ミュージアム

柴川 敏之

◎美作市湯郷温泉
和モダンなお宿 かつらぎ

Shibakawa Toshiyuki

Katsuragi, Yunogo,
Mimasaka City

「41世紀の温泉遺跡」で発掘された
出土品を展示しています。詳しくは下記
ウェブサイトをご覧ください。





25.「連動」シリーズ
 小林 照尚
 ◎美作市湯郷温泉 湯郷グランドホテル
 Terunao Kobayashi
 Yunogo Grand Hotel, Yunogo, Mimasaka City
 岡山県産の万成石でできたモニュメント。心に響く
 想いをかたちにする。



26.WM room-spring springs | 中島 麦
 ◎美作市湯郷温泉 湯郷グランドホテル
 Mugi Nakajima
 Yunogo Grand Hotel, Yunogo, Mimasaka City
 卓球台のある部屋がまるごとペイント作品に！
 空間全体でアートを感じられます。



27.彷徨う
胡桃澤 千晶
◎美作市湯郷温泉 ふくます亭
Chiaki Kurumizawa
Fukumasutei, Yunogo, Mimasaka City



28.水面+水面
片山 康之
◎美作市中山 小縄手池
Yasuyuki Katayama
Lake Konawate, Nakayama, Mimasaka City
小縄手池に浮かべられた八角形の「水面」。夜になるとカラフルにライトアップされ、幻想的な雰囲気包まれる。



29.梅干し | 佐藤 史仁
◎美作市湯郷 鶯湯公園

Fumihito Sato
Sagiyu Park, Yunogo, Mimasaka City

『Mother Art Festival』というアートイベントで展示された。マザー → お母さん → おにぎり → おにぎりと言えば梅干し、という発想から制作された。美作市の木が「梅」であることや、この地域に伝わる巨人伝説の「三歩太郎」が食べていたおむすびからポロリと落ちた具材が梅干しだったから、とも言われている。



30. 鉄筋彫刻
 徳持 耕一郎
 ◎湯郷温泉街各所
Koichiro Tokumochi
Various Places in Yunogo Onsen, Yunogo, Mimasaka City
 湯郷温泉街の各所に8体設置されている鉄筋アート。主なモチーフはジャズ奏者で、それぞれの作品にはジャズの名曲にちなんだタイトルが付けられているので、実際の曲を聞きながらの観賞もおすすめ。



31.(上)津山文化センター
設計:川島甲士 Architect: Koushi Kawashima

昭和40(1965)年竣工のモダニズム建築。建物2・3階の回廊部分には、日本の伝統的木造構築にみられる斗拱(ときょう)構造がコンクリートで取り付けられている。

32.(下)「朝」像
本郷 新 Shin Hongo

◎津山文化センター(津山市山下68)
Tsuyama Cultural Center, 68 Sange, Tsuyama City

津山青年会議所の寄贈。鳥を抱く少女の彫刻が「朝(あした)」の像と命名された。



33.(上)風のオルゴール
新宮 晋

◎山下児童公園(津山市山下30-16)
Susumu Shingu
Sange Children's Park, 30-16 Sange, Tsuyama City

津山ロータリークラブから寄贈された。普段は目に見えない、風の動きを感じられる。

34.(下)PORT ART&DESIGN TSUYAMA
◎津山市川崎823

823 Kawasaki, Tsuyama City

赤レンガ壁が美しいアートギャラリー。大正9(1920)年竣工の「旧妹尾銀行林田支店」が、芸術文化の創造・発信拠点として整備された。





35.(上) 奈義町現代美術館
設計:磯崎 新
◎勝田郡奈義町豊沢441

Nagi Museum Of Contemporary Art
Architect: Arata Isozaki
441 Toyosawa, Nagi Town, Katsuta

世界的建築家・磯崎新プロデュースによる奈義町現代美術館(通称NagiMOCA/ナギ・モカ)は作品と建物とが半永久的に一体化した美術館。太陽、月、大地と名付けられた3つの展示室から構成され、この土地の自然条件に基づいた固有の軸線を持っている。借景には秀峰那岐山を望め、日毎、季節ごとにその表情の変化を捉えることができるのが特徴のひとつ。

36.(下) 山はみている
阿部 光成

◎奈義町現代美術館芝生広場東側スペース

Mitsunari Abe
On the east side of the lawn space by Nagi MOCA

「アーティスト・イン・レジデンス・ナギ vol.4」制作作品。実際の奈義町の風景を親ながら感じ覚えた感触を彫刻にしている。那岐山をモチーフとしており、作品と那岐山が視覚的に重なる位置に配置している。素材は御影石を使用。



37. 静けさ

北川 太郎

◎奈義町現代美術館芝生広場

Taro Kitagawa
On the lawn space by Nagi MOCA

2019年の企画展「北川太郎展-手仕事信仰」で展示された作品。丸みを帯びた柔らかな雰囲気をを持った彫刻作品。素材はあられ石を使用。

38. 那岐の杜

伊藤 哲一

◎奈義町現代美術館北側駐車場入口

Norikazu Ito
Near the parking lot
on the north side of Nagi MOCA

「アーティスト・イン・レジデンス・ナギ vol.3」制作作品。奈義町のシンボルでもある那岐山や菩提寺の大イチョウなど、奈義をイメージして制作された作品。素材は黒御影石。



39. 神様の居場所

クボタケシ

◎奈義町多世代交流広場「ナギテラス」

Kubotakeshi
At the multi-generational exchange plaza "Nagi Terrace"

「アーティスト・イン・レジデンス・ナギ vol.1」制作作品。空間に寄り添い、周囲の色や形を取り込みながら鑑賞する彫刻作品。素材はフィオルディベスコ、レッドトラバーチン。



40.想像力 スライダー
絹谷 幸太
 ◎奈義っ子こども園東側入口

Kota Kinutani
 At the east entrance of Nagikko Kodomoen
 「アーティスト・イン・レジデンス・ナギvol.2」制作作品。制作に使用された石は約5億年前の赤色花崗岩。黒い模様は、気候変動によって割れた石の隙間に染み込んだ水が長い年月をかけて石化したもので、一度割れたものが長い年月をかけて修復する様子から、人間や国同士の関係も修復が可能であり、この作品から力をもらうとともに平和を目指すきっかけになってほしいという願いが込められている。



41.王様の庭(カラーハンティング)
クボタケン
 ◎奈義町現代美術館南側広場一角

Kubotakeshi
 In a corner of Nagi MOCA
 「アーティスト・イン・レジデンス・ナギvol.1」制作作品。空間に寄り添い、周囲の色や形を取り込みながら、折りに似た形として制作された彫刻作品。素材はレッドトラバーテン。



42.VILLA美都奈義
設計:笹森 則次
 ◎勝田郡奈義町行方367-2

Noritsugu Sasamori
 367-2 Gyouho, Nagi Town, Katsuta
 「泊まれる美術館」をコンセプトに整備された一棟貸しホテル。世界的ヒット作「NARUTO」から着想を得て手裏剣に見立てた外観も特徴的。外壁には画家・さとうたけしによる四季の花々がペイントされ、室内には彫刻家・北川太郎のオブジェや、建築家ル・コルビジェのポスター等資料も展示。



43.星のこだま
新宮 晋
 ◎勝田郡奈義町豊沢336

Susumu Shingu
 336 Toyosawa, Nagi Town, Katsuta
 ステンレスで出来た風車のような巨大彫刻作品。強風の時はゆっくり回転し、弱風の時は激しく回転することで常に「風」を実感させてくれる作品。



44.厚みのある時間(二点)
北川 太郎
 ◎奈義町現代美術館広場一角

Taro Kitagawa
 In a corner of Nagi MOCA
 2019年に奈義町現代美術館で開催された企画展「北川太郎展―手仕事信仰―」で展示された作品。共に2007年～2010年文化庁在外研修員でペルーのクスコ近郊のアンデス高原に3年間滞在し制作した作品。空間に寄り添い、周囲の色や形を取り込みながら鑑賞する彫刻作品。素材はアンデシータ(安山岩)。





45.金盛秀禎氏の彫刻作品
 ◎真庭郡新庄村1143-4 咲蔵家
Hideyoshi Kanamori
 Sakuraya, 1143-4 Shinjo Village,
 Maniwa
 新庄村出身の彫刻家金盛秀禎氏の作品。作品制作の根底には生まれ育った新庄村での子どもころの記憶・体験・原風景がある。



46.旧勝田郡役所庁舎
 ◎勝田郡勝央町勝間田635
Old City Hall of Katsuta-gun
 635 Katsumada, Shoo Town, Katsuta
 1912(明治45)年に勝田郡役所として建てられた洋風木造建築の建物で、当時としては珍しい螺旋階段やアーチ状の入口が特徴的。令和4年から保存活用のための改修工事中。



47.柵原ふれあい鉱山公園
 ◎久米郡美咲町吉ヶ原394-2
Yanahara Fureai Mine Park
 394-2 Kichigahara, Misaki Town, Kume
 旧片上鉄道の吉ヶ原駅舎と操車場のあった場所に作られた公園。昭和レトロで絵になる風景を楽しめます。





48.若杉天然林

📍英田郡西栗倉村大茅

Wakasugi Natural Forest
Ogaya, Nishiwakura Village, Aida

ブナやカエデ、ミズナラなどが生い茂る若杉天然林は、県下有数の森林浴スポットです。鳥の声や小川のせせらぎが、疲れたココロとカラダを癒やしてくれます。



49.川柳の小径・公園

📍久米郡久米南町下弓削・西山寺

Willow Paths and Parks
Nishiyamaji, Shimoyuge, Kumenan Town, Kume

川柳の町、久米南町のシンボルゾーン。サクラやツツジなど季節ごとに咲き競う美しい丘の上に300基以上の川柳句碑が建立されている。

AREA MAP — 作品マップ:具体的な所在地はQRコードを読み取ってご確認ください。

※湯原温泉・奥津温泉・湯郷温泉・奈義町については次のページの詳細マップをご覧ください。



- | | | | | | |
|---|-------------------------------|--------------------------|------------------------------------|---------------------|---------------------------|
| 1 はんざきさん湯冷め姿
松岡 徹 p.1-2 | 3 「望遠分岐図」他
山部 泰司 p.5 | 5 はんざき地藏
松岡 徹 p.7 | 7 Dancing Egon
宮崎 郁子 p.8 | 9 旧遷番尋常小学校
p.9 | 11 はんざき足湯
松岡 徹 p.10 |
| 2 (上)「浮」シリーズ
(下) (untitled)
児玉 知己 p.4 | 4 はんざきさん
湯上がり姿
松岡 徹 p.7 | 6 3泊目のはんざきさん
松岡 徹 p.6 | 8 はんざきヴァリー
(湯上がり姿)
宮崎 郁子 p.8 | 10 勝山町並み保存地区
p.9 | 12 バックはんざき
伊藤 みのり p.10 |

- | | | | | | |
|---|--|---------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------|
| 13 はんざきさん湯冷め
姿2号
松岡 徹 p.11 | 20 multi LD ver. 米屋
倶楽部 red/blue
中島 麦 p.16 | 27 彷徨う
胡桃澤 千晶 p.22 | 34 PORT ART&DESIGN
TSUYAMA p.27 | 41 王様の庭
(カラーハンティング)
クボタケシ p.30 | 48 若杉天然林 p.34 |
| 14 はんざき山車「太郎・花子」
坂手修三デザイン
事務所 p.12 | 21 「うつわ」シリーズ
松村 晃泰 p.17 | 28 水面+水面
片山 康之 p.22 | 35 奈義町現代美術館
p.28 | 42 VILLA美都奈義
p.30 | 49 川柳の小径・公園
p.35 |
| 15 CLTパビリオン風の葉
p.13 | 22 びじんにしてもらう彫刻
かがみのおやま
大間 光記 p.18 | 29 梅干し
佐藤 史仁 p.23 | 36 山はみている
阿部 光成 p.28 | 43 星のこだま
新宮 晋 p.31 | |
| 16 茅アート(しずく)
株式会社EARTH
BUILDING事務所 p.14 | 23 びじんにする彫刻
大間 光記 p.18 | 30 鉄筋彫刻
徳持 耕一郎 p.24,25 | 37 静けさ
北川 太郎 p.29 | 44 厚みのある時間(二点)
北川 太郎 p.31 | |
| 17 真庭のシシ
淀川テクニク
柴田英昭 p.14 | 24 2000年後の温泉
ミュージアム
柴川 敏之 p.19 | 31 津山文化センター
p.26 | 38 那岐の杜
伊藤 哲一 p.29 | 45 金盛秀禎氏の
彫刻作品 p.32 | |
| 18 河鹿美湯蛙湯掛姿
松岡 徹 p.15 | 25 「連動」シリーズ
小林 照尚 p.20 | 32 「朝」像
本郷 新 p.26 | 39 神様の居場所
クボタケシ p.29 | 46 旧勝田郡役所庁舎
p.33 | |
| 19 STRIPE
草間 喆雄 p.16 | 26 WM room-spring
springs
中島 麦 p.21 | 33 風のオルゴール
新宮 晋 p.27 | 40 想像力 スライダー
絹谷 幸太 p.30 | 47 柵原ふれあい
鉱山公園 p.33 | |

LOCATION MAP — 詳細エリアマップ

湯原温泉
YUBARA



奥津温泉
OKUTSU



湯郷温泉
YUNOGO



奈義町
NAGI



「森の芸術祭 晴れの国・岡山」



開催日時	開催エリア
2024.9.28-11.24	岡山県内の12市町村：津山市 / 高梁市 / 新見市 / 真庭市 / 美作市 / 新庄村 / 鏡野町 / 勝央町 / 奈義町 / 西粟倉村 / 久米南町 / 美咲町

コンセプト

美作三湯をはじめとする岡山県北部の悠々とした時空間は、エコロジー思考における新しい可能性を秘めています。本芸術祭は「森」がもたらす「恵み」を芸術の力で未来に向けて活性化することを目的とし、「本当に必要な資本とは何か？」を問いかけます。



アートディレクター 長谷川 祐子

古代より大和と出雲を結ぶ出雲街道が東西に延び、近世には城下町・宿場町として栄えたこの地には、さまざまな伝統建築や工芸、芸能などのレガシーが残されています。大地や森からは果物や木材などの恵みがあり、その豊かさをサステナブルにするためのさまざまな試みがなされており、なかでも木質バイオマス発電などの森林資源を生かした取り組みはSDGsの先駆モデルとして評価されています。また蒜山高原をはじめ、美作三湯、鍾乳洞など、過度に観光地化されていない悠々とした時空間は、エコロジー思考における新しい可能性を秘めています。

森の芸術祭という名称は、温暖な気候、豊かな水や資源、食など、私たちが生きる上での大切な要素を満たしているこの地域の、自然の恵みや文化、人々が集まる場所としての多様性と豊かさを象徴する「森」からきています。

本芸術祭は、その「森」がもたらす「恵み」を芸術の力で未来に向けて活性化することを目的とし、「本当に必要な資本とは何か？」を問いかけます。美術館や記念館や学校などの文化施設、水やエネルギー、食の供給といった生活のインフラ、自然環境を共通の資本と考え、アーティストのみならず、建築家、科学者、民俗学者といった専門家も交え、地域の人々の協力を得ながら「新しい資本」をつくりあげていきます。

芸術は多様な考えを反映するとともに、これを人々に共感させ、新しい世界やものの見方に向けての想像力を養います。それは「驚き」「感動」「わくわく感」「ときめき」「生きていることの喜び」「深く感じ考えることの充足感」をもたらします。県北というひとつのエコロジーが芸術のエネルギーを得て、人々の心や感性をリフレッシュさせる「場」に変わります。晴れの国の森の住民たちの祝祭は、それを祝う祭となります。

AREA MAP — 開催エリアマップ

- 津山 | 1. 津山城周辺エリア
2. グリーンヒルズ津山エリア
- 奈義 | 3. 奈義町現代美術館周辺エリア
- 新見 | 4. 満奇洞・井倉洞エリア
- 真庭 | 5. 蒜山エリア
- 奥津 | 6. 鏡野エリア

奥津溪



©岡山県観光連盟

立石従寛



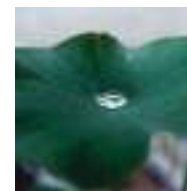
立石従寛《Abiotope》2019 © JukanTateisi

GREENable HIRUZEN



© 真庭観光局

川内倫子



川内倫子《無題》(シリーズ「Illuminance」より)

満奇洞



©岡山県観光連盟

蜷川実花



©岡山県観光連盟



衆楽園



撮影：浅野豪 写真提供：JR西日本

リクリット・ティラヴァニ



Courtesy of Rikrit Tiravanija

グリーンヒルズ津山



撮影：浅野豪 写真提供：JR西日本

エルネスト・ネト



Ernesto Neto, *chantdance*, 2023 Material: crochet with recycled thread (PET), bamboo, wooden pieces, ceramic pots, plants, water, woodenhoops, spices (clove, turmeric, ginger powder), brass drums, lamps, ceramic lamp covers Dimensions: 4.45×19.71×19.71 m Photo: Wachai Phutthawarin Courtesy of Thailand Biennale Chiang Rai 2023; Fortes D'Ajoia&Gabriel, São Paulo and Rio de Janeiro; Tanya Bonakdar Gallery, New York and Los Angeles

坂本龍一+高谷史郎



坂本龍一+高谷史郎《TIME-déluge》2023 木本美術館(中国、成都) 「坂本龍一 | 一音一時」展での展示風景 Photo: 高谷史郎

奈義町現代美術館



撮影：浅野豪 写真提供：JR西日本

MIMASAKA AREA ART GUIDE

真庭市 / 鏡野町 / 美作市 / 津山市 / 奈義町 / 新庄村 / 勝央町 / 美咲町 / 西粟倉村 / 久米南町

MANIWA / KAGAMINO / MIMASAKA / TSUYAMA / NAGI / SHINJO / SHOO / MISAKI / NISHIAWAKURA / KUMENAN

真庭市 *Maniwa City*

東西に約30km、南北に約50kmの広がりを見せる真庭市は、総面積約828km²と県下最大の面積を有し、蒜山高原や湯原温泉、勝山町並み保存地区など、豊かな自然や歴史資産が多く存在しています。市域の8割が森林であることから豊富な森林資源を活用した林業が盛んで、木質バイオマス産業の中心地となっています。



鏡野町 *Kagamino Town*

鏡野町は岡山県北部に位置し、中国山地を成す山々に囲まれた町内には、岡山三大河川の吉井川が流れています。四季折々を感じられる自然の中で、キャンプやスキーを始めとした数多くのアクティビティを体験できます。「美作三湯」の一つ、奥津温泉は古くから多くの文人・墨客が訪れ、その作品の舞台にもなっています。



美作市 *Mimasaka City*

北は鳥取県、東は兵庫県と接する美作市は、宿場町として栄えた歴史をもつことや、剣聖宮本武蔵の生誕地であることから、歴史情緒あふれる名所や史跡が多数存在します。また、湯郷温泉は、別名「驚の湯」とも呼ばれ、多くの観光客が訪れています。江戸時代からお茶の生産地であり、海田地区で栽培されたお茶は「海田茶」として幅広い年齢層に親しまれています。



津山市 *Tsuayama City*

津山市は、岡山県北東部に位置し、北は中国山地、南は中部吉備高原に接する、都市と自然が融合する表情豊かな地域です。かつては津山城の城下町だったこともあり、風情を色濃く残した街並み、寺院や神社も多く残っています。また、古くから牛肉を食べる文化があり、独特な食文化が育まれています。



中国山地の秀峰「那岐山」の南麓に広がる奈義町は、中山間地域でありながら空が広く感じられる開けた地形の高原地帯で、四季折々の美しい自然に恵まれた町です。奈義町現代美術館や江戸時代から継承される横仙歌舞伎など、自然に溶け込むようにアートと文化が息づいています。



新庄村 *Shinjo Village*

岡山県の西北端に位置する新庄村は、古くは出雲街道の宿場街として栄え、旧出雲街道は今も当時の面影を残す風情ある通りとなっています。街道沿いに植えられた137本の桜が咲揃う素晴らしい桜並木のトンネルは、新庄村の春を代表する景色です。旭川の源流である毛無山一帯から湧き出る清流、肥沃な土壌と澄んだ空気から生まれた餅米を使用した「ひめのもち」は県内外で人気です。



勝央町 *Shoo Town*

勝央町は岡山県北東部に位置し、金太郎こと坂田金時終焉の地と伝えられています。西日本有数の規模を誇る勝央工業団地を擁し、県北東部産業の拠点となる一方で、「作州黒」と呼ばれる黒大豆やくだもの栽培をはじめとする農業も盛んに行われており、自然と文化がバランス良く調和した町です。



美咲町 *Misaki Town*

岡山県のほぼ中央部に位置する美咲町は、県北部の中心都市である津山市の南部に位置しています。総面積の約6割を山林が占め、東に吉井川、西に旭川の県下3大河川の2河川が流れ、中央部には「日本の棚田百選」にも選ばれた棚田など田園風景がいっぱいの自然豊かなまちです。三休公園や柵原ふれあい鉱山公園など、見所もいっぱいです。



西粟倉村 *Nishiwakura Village*

西粟倉村は岡山県の北東端、中国山脈の南斜面に開かれた谷あいの山里です。緑あふれる釣り鐘型の地形の中央を清流・吉野川が流れ、それに沿って細長い平野部が広がり農地と集落があります。森林浴、バードウォッチング、星空キャンプ、紅葉狩り、スキー等、四季折々に雄大な自然とのふれあいが気軽に楽しめます。



久米南町 *Kumenan Town*

川柳の町として、また、法然上人（ほうねんしょうにん）ゆかりの誕生寺でも有名な久米南町は、自然と文化に恵まれた町です。岡山市から北へ約40キロメートル、津山市からは、南へ約20キロメートルと、県のほぼ中央に位置しています。主な産業は、米作を中心とする農業で、ぶどう、ゆず、野菜などの生産も盛んです。



MUSEUMS IN MIMASAKA AREA — 美作エリア アート施設一覧

鏡野郷土博物館	新庄村歴史民俗資料館	津山洋学資料館	美作市作東文化芸術センター美術館 (通称 作東美術館)
〒708-0324 吉田郡鏡野町竹田663-7 <p>TEL:0868-54-7733</p>	〒717-0201 真庭郡新庄村2011 <p>TEL:0867-56-3178(教育委員会)</p>	〒708-0833 津山市西新町5 <p>TEL:0868-23-3324</p>	〒709-4234 美作市江見945 <p>TEL:0868-75-1117</p>
竹田遺跡で発見された縄文時代早期の考古資料や町内で収集された民俗資料を展示。	江戸中期の茅葺屋根の建前には、雪靴など民具500点を展示。	宇田川家・箕作家など津山ゆかりの洋学者たちの業績をわかりやすく紹介する資料館。隣接の箕作阮甫旧宅(国史跡)と合わせての見学がお勧め。	世界的に著名なフランス人画家レイモン・ペイネの水彩画、油絵、版画など140点を所蔵。季節にあわせ展示替えを年数回実施するとともに公募型コンクール「愛の美術展」を年1回開催。
かがみの近代美術館	誕生寺宝物館	奈義町現代美術館	棟方志功・柳井道弘(M&Y)記念館
〒708-0504 吉田郡鏡野町奥津川西692 <p>TEL:0868-52-0722</p>	〒709-3602 久米郡久米南町里方808 <p>TEL:0867-28-2102</p>	〒708-1323 勝田郡奈義町豊沢441 <p>TEL:0868-36-5811</p>	〒708-0814 津山市東一ノ宮13-8 <p>TEL:0868-27-3239</p>
奥津温泉に程近い築150年の古民家をリノベーションし、平成30年4月28日に開設。館長が収集した忘却の彼方へ置き去りにされようとしている国内の”夭折・未完の画家”たちの作品を展示。	法然上人ゆかりの品を50余点収蔵。	建築家・磯崎新プロデュース。荒川修作＋M・ギンズ、岡崎和郎、宮脇愛子の空間的作品を常設展示。併設ギャラリーでは、企画展開催。	棟方志功・柳井道弘記念館(M&Y記念館)は板画家棟方志功と詩人柳井道弘との津山地域における交流や足跡を記念して作られた記念館。
勝山文化往来館 ひしお	津山郷土博物館	PORT ART&DESIGN TSUYAMA ポート アート&デザイン津山	保田扶佐子美術
〒717-0013 真庭市勝山162-3 <p>TEL:0867-44-5880</p>	〒708-0022 津山市山下92 <p>TEL:0868-22-4567</p>	〒708-0841 津山市川崎823 <p>TEL:0868-20-1682</p>	〒708-1126 津山市押入97-11 <p>TEL:0868-26-5711 (下兼)</p>
2005年の開館以降、海外の芸術家招聘、展覧会、コンサート、演劇公演等各種イベントを開催。	国の登録文化財「旧津山市庁舎」が、津山郷土博物館として開館。江戸一目図屏風を収蔵し、大名駕籠と熊毛鎧をセットで常設展示する美作地域の歴史の窓。	2018年10月オープン。津山市指定重要文化財「旧妹尾銀行林田支店」の100年の歴史を誇る建築を活用した芸術文化施設。優れた作家の作品を紹介する企画展を主軸に、展示会、イベント、講演会等に活用されている。	バルセロナ在住の抽象画家保田扶佐子の生家の一角の小さな美術館です。保田の作品を中心に稀少本なども展示。
現代玩具博物館・オルゴール夢館	つやま自然のふしぎ館	蒜山郷土博物館	柵原鉱山資料館
〒707-0062 美作市湯郷319-2 <p>TEL:0868-72-0003</p>	〒708-0022 津山市山下98-1 (鶴山公園正面入口) <p>TEL:0868-22-3518</p>	〒717-0505 真庭市蒜山上長田1694 <p>TEL:0867-66-4667</p>	〒708-1523 久米郡美咲町吉ヶ原394-2 <p>TEL:0868-62-7155</p>
世界のおもちゃやオルゴールを展示する施設。工作体験の出来るアトリエ(工作室)やおもちゃで遊べるプレイルームも有り。	世界各地の希少動物をはじめ、昆虫、化石、鉱石、貝類、人体標本等を一同に集めた自然史の総合博物館。	蒜山の歴史・文化の情報発信の拠点として平成4年に開設。四ツ塚古墳や大宮踊、蒜山独特の生活文化などについて展示。	昭和30年頃の鉱山の様子や鉱山町の暮らしぶりを再現した資料館。
勝央美術文学館	津山まなびの鉄道館	真庭市蒜山ミュージアム	妖精の森ガラス美術館
〒709-4316 勝田郡勝央町勝間田207-4 <p>TEL:0868-38-0270</p>	〒708-0882 津山市大谷 <p>TEL:0868-35-3343</p>	〒717-0602 真庭市蒜山上福田1205-220 GREENable HIRUZEN内 <p>TEL:0867-42-1178</p>	〒708-0601 吉田郡鏡野町上齋原666-5 <p>TEL:0868-44-7888</p>
郷土出身の画家や関連作家の絵画を常設展示。また木村毅を中心とする郷土出身文学者の文学資料を展示コーナーも有り。町民ギャラリーや屋外展示場を併設。	昭和36(1961)年建設の旧津山扇形機関車庫と車両の向きを変える転車台を含む、近代化産業遺産認定施設を中心とした鉄道博物館。扇形車庫内には貴重な13の車両を保存展示。	人と自然の共存が体感できる文化・芸術をテーマとするミュージアム。	世界的にも珍しいウランガラスを展示・制作・販売する施設。体験もできる。

EVENTS — 美作エリア イベント一覧

永ちゃん田んぼの会 アート田んぼ

開催場所 美作市下町

開催期間 水稲アート(7月中旬～9月中下旬)/もみ殻アート(11月上旬～翌年2月末頃)

ロック歌手・矢沢永吉さんを稲の色づきで描くアート田んぼ。2019年から取り組んでおり、近年は地元小学生の農業体験(田植え、稲刈り)への協力や、収穫したお米の寄贈(学校給食センター等へ毎年約90kg)も行っています。稲刈り後は、もみ殻による秋冬用のアートも実施し、県内外問わず多くの人を魅了しています。

2024年の水稲アートは、黒(古代米)と緑黄(ほしじるし)に加え、白(ゆきあそび)と赤(べにあそび)で表現しています。



森神(もりがみ) KINTARO 田島征三・森と命とARTの世界

開催場所 勝央美術文学館(勝田郡勝央町勝間田207-4) TEL:0868-38-0270

開催期間 2024年8月10日(土)～10月14日(月・祝) 定休日:月曜日(祝日の場合は翌平日)

絵本「きんたろう」(1996年発行/教育画劇)の作画者である絵本作家で現代アーティストの田島征三氏の「森」=自然と共に生きることを切り口としたアートの世界を紹介する展覧会。「森」=自然の中で力強く生きる金太郎を田島氏独特の生命力にあふれた世界観で表現した「きんたろう」の絵本原画、「金太郎が最期を遂げた勝央には、金太郎の力強さ・パワー・エネルギーが宿っている!」という田島氏のインスピレーションに基づき創作する金太郎をテーマとした新作(F100号7点、会期中にライブペイントで制作するF200号2点)(予定)を展示します。



OKUTSU芸術祭

開催場所 かがみの近代美術館ほか全19か所 **開催期間** 2024年9月14日(土)～12月1日(日)

奥津温泉街をはじめとする鏡野町を「アートが楽しめる魅力ある地域」へ育てる事を目的とした民間による芸術祭。かがみの近代美術館ほか奥津荘、池田屋河鹿園、奥津温泉花美人の里、ベスタロッヂ館、のとり温泉天空の湯、さいの郷椏など、鏡野町内の19か所に多彩な作家の作品が展示されます。

新庄村ゆかりの芸術家とその愉快的仲間たち展

開催場所 新庄村がいせん桜通り **開催期間** 2024年10月12日(土)～10月27日(日)

新庄村出身の芸術家である金盛秀禎氏、酒井賢氏の作品を中心につながりのある作家の作品展を開催。紅葉のがいせん桜通りを歩きながら芸術を鑑賞するという非日常を体験できます。

つやま城東まち歩き2024秋 アート&クラフト+手仕事展

開催場所 津山市城東地区 旧出雲街道沿線 **開催期間** 2024年11月2日(土)10:00～16:00 / 2024年11月3日(日)10:00～15:00

町家が残る風情ある城東地区の出雲街道沿線でートクラフト展を開催。公共施設や空き店舗等を使用し、手仕事関連商品の販売や横野和紙製作等のワークショップも開催されます。



岡山の文化の魅力をまとめて発信
ポータルサイト「アートプロジェクトおかやま」

発行:岡山県環境文化部文化振興課 令和6(2024)年9月作成